

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2007～2008年度 RIのテーマ
ROTARY SHARES



会長 下津谷忠男 幹事 田中昌夫

第1896回例会 (2007年10月23日)

点鐘 下津谷会長

ロータリーソング 手に手つないで

お客様紹介

地区米山記念奨学会部門委員長 染谷良雄様

米山奨学生 チョ ヒヨンス様

新入会員 古谷松雄様



《ご挨拶》

古谷松雄様



皆さんこんにちは。3年ぶりの再入会となります。聞くところによりますと当時よりも20名ちかく会員が少なくなったということで、微力ながら少しでもお役に立てたらと思っています。自分の力で出来る限り増強にも協力し、杉戸ロータリークラブが持続出来るよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

会長挨拶

下津谷会長

本日、再入会して下さいました古谷さんから心強いお話を伺い、とてもうれしく思っています。ぜひ、古谷さんの力をお借りして、今年度5～6名を増強したいと思いますのでよろしく

お願いします。

さて、先週は司馬遼太郎著の「坂の上の雲」を紹介しましたが、本日は卓話もあるのでその続きを少しだけお話ししたいと思います。

司馬遼太郎は、乃木希典を凡庸な男のように言っていますが、大山巖も東郷平八郎も似たようなものと言えます。近代戦の経験といえば、一方的に勝利した日清戦争だけです。運の良い老将といえるでしょう。何が違ったかという点、大山も東郷も乃木と比べて参謀が良かった。天下分け目の奉天大会戦で、クロパトキンが一番恐れたのは乃木第三軍だった。何と云っても永久不落と思われた旅順の要塞を落としたからです。(日本側の事情はどうあれ)乃木第三軍と騎兵第一旅団長の秋山好古が奉天城を囲む形で突進していった。そういう状況を知ったクロパトキンは、何と日本軍の約1.5倍の軍勢を持ちながら退路を断たれるのを恐れ、退却してしまう。

私は、乃木希典を無能な男とは思わない。奉天戦で乃木大將は、勝利に導く重要な役割を果たしたからです。私は、まだ日本人が入れない

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480-34-1716 FAX 0480-34-1360

時に「絶対言葉を交わさないように」との約束のもと、旅順の激戦地203高地に行ったことがあります。小高い山の稜線に半壊したペトン（コンクリート）の要塞がありました。この一帯で5万9千人の日本軍死傷者を出したのかと無謀とも思える戦場跡に感慨を新たにしたのを思い出されます。

幹事報告

田中幹事

① 今回は特別な幹事報告はありませんが、各クラブより例会変更の案内がきております。

《卓話》

チョ ヒョンス様



皆さん始めまして！

私は東京大学医学研究科博士3年生 趙顯洙と申します。

韓国からきました。今日杉戸 RC 皆さんと会って本当に嬉しいです。私が日本に来てから一人で日本語を勉強しましたから日本語で話すことが難しいです。でも最後まで頑張ります。今私がお世話になっている RC は幸手中央 RC です。今年が10周年の本当に若い RC ですが、RC の会員も若い人が集まって皆 Active に活動をやっています。

私の研究について少し話したいですが、マウスの神経細胞のモータ蛋白質が運送されている病気関連蛋白質について研究をやっています。特に私の方は目の病気関連蛋白質について勉強しています。関連蛋白質を見つけて今この病気で困っている人に小さい希望を与えたいです。

日本に来て本当にびっくりしたことは韓国で考えた日本と日本で住んだ後考えた日本が全然違うことです。韓国で考えた日本はそんなに良い印象ではありませんでした。日本について「世界2次大戦争のとき日本が韓国に侵略して多くの方が死んで・・・」という教育を受けてきましたから。しかし、今日本に住んでみて私の考え方が完全に変わりました。いつも「すみません・・・」の心を持っている日本人を見て本当

に感動しました。日本人は他人に迷惑をかけないようにという気持ちが多い。エレベーターでも電車の中でも、車の運転もとても優しいと思います。私は大学の先生になりたいと思いますが、先生になったら日本のことは全然違うということを学生たちに説明したいです。

RC の奨学生になって本当に嬉しいです。その理由は、お金を貰うことも重要ですが、私が本当に言いたいことは日本で新しい家族ができることです。私は外国人ですから本当に不安なことがあります。でも、いつも私が例会に参加すると RC の皆さん全員が「いつでもいいですから、あなたがもし困ることがあったらぜひ話してください」「なんでもいいですから何か相談することがあったら相談してください。」これを聞く時本当に感動しました。その後、私の不安がなくなりました。その結果、もっと研究に集中することができました。本当に RC 皆さんありがとうございました。

《卓話》

染谷良雄様



日頃は杉戸 RC さんにおかれましては、米山記念奨学事業に深いご理解とご協力を頂き

心より感謝申し上げます。杉戸 RC さんでは、昨年度の一人当たり平均寄付額は32115円で地区では9位と輝かしい成績を収められました。改めて感謝申し上げますと共に本年度も引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

東京ロータリークラブの初代会長であり、数々の社会貢献を行った。日本のロータリーの父米山梅吉氏の偉業を永遠に偲ぶことのできる事業では、今後日本で生きる道である平和日本をアジア諸国に、そして世界に理解をしてもらう為に留学生支援こそ最もふさわしい国際奉仕事業ではないかとの事で1952年東京ロータリークラブが米山基金の構想立案し1957年国内全クラブの合同事業へ1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会設立され、これまでに支

援した奨学生数は、累計で1万4千人にのぼります。外国人留学生に対する民間奨学団体は日本全国に142団体ありますが、米山奨学会の助成等事業費は民間奨学財団では第1位です。規模に加えて、他の団体にない最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度です」世話クラブ制度では一つのロータリークラブが、米山奨学生を奨学期間中、例会や奉仕活動に参加したり、ロータリーが求める奉仕の精神や平和への願いを伝える場となります。カウンセラー制度では世話クラブ会員の一人が奨学生の良き相談相手とし精神面での支えとなる制度です。このような活動を日本のロータリーの多地区合同奉仕活動です。

そして、2007年7月1日、米山記念奨学会は財団設立40周年を迎えました。

では、ここで寄付金についてご説明させていただきます。ロータリアンの皆様からの寄付は、全額奨学生のために使われています。米山奨学会の収支は非常にシンプルで、収入は全国のロータリアンからの寄付と利子収入だけです。

米山奨学会への寄付金は、1996年をピークに下降しつつありました。そのため、99年からは特別積立財産の取り崩しながら、従来どおりの人数、年間1000人を支援してきました。しかし、2005年度からは特別積立財産の取り崩しをせず、かつ、寄付額に見合った助成規模へ縮減し800名の支援することが決まりました。当地区の実績は67、204、190円で、一人平均寄付額は23,647円の協力頂き34地区第2位でした。個人平均寄付額が最も高かったのは2590地区（神奈川県横浜市・川崎）で28,000円を超えています。今年度の目標が2万円以上とさせていただいております。米山奨学生の地区への配分は、ほぼ寄付額の多さで決まります。目標を達成し、多くの奨学生を採用できるよう、ご協力お願いし卓話を終わりにいたします。最後に杉戸RCさんの熱意ある行動と益々の発展と会員皆様のご健勝お祈りいたします。ご清聴有難うございました。

出席報告

仁部会員

出席免除 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
10/23	25	16	9	6	88%

スマイル報告

仁部会員

下津谷会長→古谷さん再入会おめでとうございます。染谷委員長、チョ ヒヨンス様、本日はありがとうございます。

中島会員→染谷米山部門委員長、ご苦労様です。チョ ヒヨンス様ようこそ！古谷さん入会おめでとうございます。

以下同文→舟越会員、本多会員、黒岩会員、田中会員、鈴木会員、庄司会員、武井会員、金子会員、渡辺良一会員、戸賀崎会員、仁部会員、篠原会員

本日投入額	16,000円
累計額	331,500円